

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

サッポロスポーツプラザ PAL 川口
ボイラー排気熱回収による CO2 排出削減事業

排出削減事業者名：株式会社サッポロスポーツプラザ

排出削減事業共同実施者名：株式会社リサイクルワン

その他関連事業者名：株式会社トリリオン

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社サッポロススポーツプラザ
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	サッポロススポーツプラザ PAL 川口
住所	埼玉県川口市並木元町 1 番 64 号
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社リサイクルワン
その他関連事業者（注）	
関連事業者名	株式会社トリリオン

（注）その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

サッポロススポーツプラザ PAL 川口ボイラー排気熱回収による CO2 排出削減事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、施設内の給湯及び、プール・浴槽の熱源となっているボイラーの煙道に排気熱回収装置を設置し、あらかじめ給湯の補給水予熱を行いボイラーの熱効率を高め、燃料を削減し省エネと CO2 排出削減を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設ガス焚式温水ボイラーの煙道に排気熱回収装置を設置し排気熱より熱回収を行う事でボイラーの高効率化を図り、給湯の補給水予熱を行いボイラーの燃料を削減し、CO2 排出量が削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009年4月1日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2009年4月1日 ～2011年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

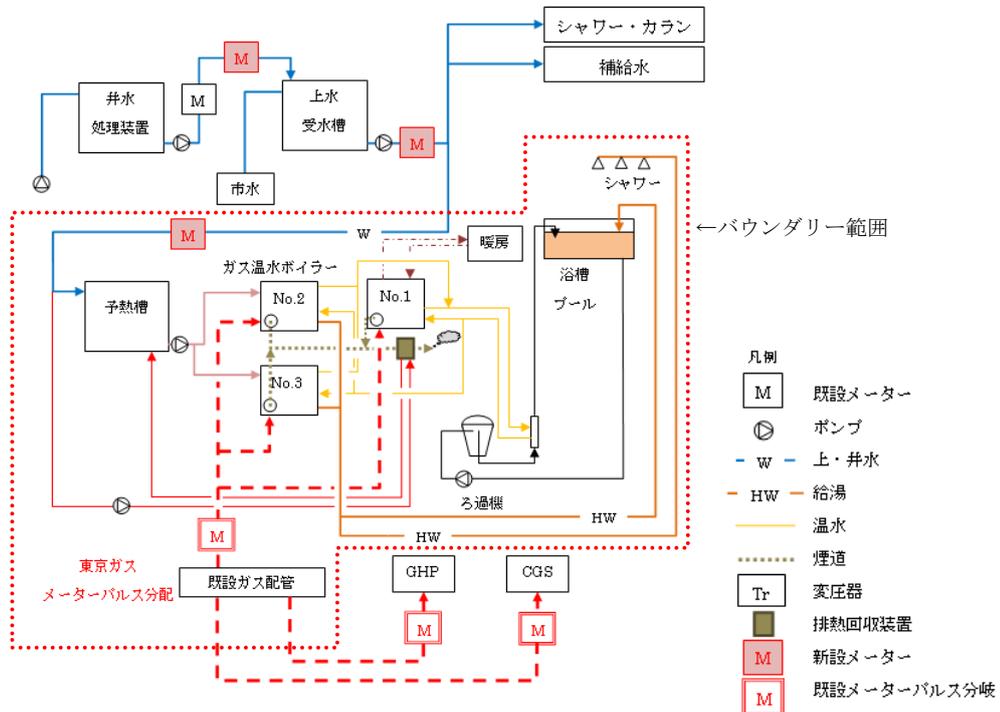
4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位 無し

4.2.2 活動量の採用根拠 無し

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、燃料供給設備及び更新されるボイラーから熱・給湯を受ける設備とする。（赤枠線内がバウンダリー範囲）



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel},pj}$	事業実施後燃料使用量	千 Nm ³ /年	115.702 (H21 年度) 110.636 (H22 年度) 合計 226.338	購買量を Nm ³ に換算	変更無し
$HV_{\text{fuel},pj}$	事業実施後燃料の単位発熱量	GJ/ 千 Nm ³	44.8	デフォルト値	変更無し
ε_{pj}	事業実施後のボイラー効率	%	$80 \times 1.15 = 92$	カタログ値	変更無し
ε_{BL}	事業実施前のボイラー効率	%	80	カタログ値	変更無し
$CF_{\text{fuel},BL}$	事業実施前の燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/GJ	(2008 年度以前) 0.01366	デフォルト値	変更無し
$CF_{\text{fuel},pj}$	事業実施後の燃料の単位発熱量あたりの炭素排出係数	t-C/ GJ	(2009 年度以降) 0.01360	デフォルト値	変更無し

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
226.338 千 Nm ³	44.8GJ/千 Nm ³	0.01360t-C/GJ	505.7t-CO ₂
EM _{PJ}			505.7t-CO ₂

7.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
260.288 千 Nm ³	44.8GJ/千 Nm ³	0.01366t-C/GJ	584.1t-CO ₂
EM _{BL}			584.1t-CO ₂

7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
			0t-CO ₂
LE			0t-CO ₂

補機類の CO₂ 排出量は、排出削減量の 5%に満たないため、対象外とする。

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2 排出量
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	584.1t-CO ₂
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	505.7t-CO ₂
リークージ排出量 (7.3)	LE	0t-CO ₂
温室効果ガス排出削減量	ER	78t-CO ₂

8 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
300.9	261.6	39.3

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			